

はが野で農業をはじめよう！

令和3年度

JA はが野

研修生募集

新規

就農塾

【募集期限】

令和2年

11月まで

募集要項

- 事業の内容 J Aはが野管内の熟練農業者のもとで1年間の研修を行い、農業経営に必要な技術・知識を習得する。
- 募集対象者
 - ①年齢満18～48歳
 - ②研修修了後、当J A管内の就農希望地において、就農・経営を開始すること。
 - ③当J Aの組合員となること。
 - ④生産部会員として活動できること。
- 募集人数 6名程度
- 研修期間 1年間（令和3年4月～令和4年3月）
※研修状況によって変わります
- 研修内容 実際の農作業を通じての研修
講習会等での学術研修 etc
- 選考方法等 申込書を提出後、「書類審査」「面接審査」の上決定
※申込については、他にも条件があります。詳しくは下記問い合わせまでご連絡下さい。

申込・お問い合わせ

はが野農業協同組合 営農部 新規就農塾推進協議会（担当：秋山）

住 所：〒321-4303 栃木県真岡市八条95

TEL：0285-83-7623

FAX：0285-83-7754

メール：h.einoul@ja-hagano.or.jp

URL：http://www.ja-hagano.or.jp



新規就農塾先輩を紹介します



小池 伸幸さん
出身：東京都
(前職)システムエンジニア
就農地：真岡市

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ
農業に興味があった。ただ何を作るかまで考えていなかった。新規就農者の受入

体制が整っており、農地面積あたりの収益性の高い苺を選んだ。いちごの新規就農塾で学んで就農をしました。

Q いちごを作って思ったこと

いちごは奥が深い作物。切れ目ない仕事ですが、黙々と作業するのが好きなので労働は苦ではありませんが天候の影響受けやすい作物。



富田 欣也さん
出身：茨城県 (前職)ビル業
就農地：茂木町

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

収益性の高い農作物と農地付住宅を探して県の振興公社に相談したらいちご栽培と茂木町に行き着いた。

Q いちごを作って思ったこと

いちご作りは難しい作物。色々な方のアドバイスをもらっています。いちごは、手間をかけた分応えてくれる作物です。



伴瀬 知宏さん
出身：宇都宮市 (前職)製造業
就農地：真岡市

Q いちごをはじめたきっかけ
何ができるのか、探していたら農業公社の紹介により、いちご新規就農塾でやる気が起きました。

Q いちごを作って思ったこと
農業は自分自身が経営者なので良くも悪くも自分次第。決まった休日もないので大変さも感じます。



金子 真・涼子さん
出身：埼玉県 (前職)IT 企業
就農地：真岡市

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

土地を集約的に活用し、収益性の高い作物を探して栃木県で探していたら新規就農へのサポートが良く、いちごが条件にピッタリあった。

Q いちごを作って思ったこと

うまくいかない事が多く、毎日が手探り状態。わからないことは、周りの方に相談しています。



西橋 昌洋・美季さん
出身：東京都
(前職)IT 企業
就農地：真岡市

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

日本一のいちごの産地で就農出来るチャンスがあった事が一番大きい。その他に、

J Aの研修制度が受けられ、また、パッケージセンターがある事など、産地ならではのメリットを感じた。

Q いちごを作って思ったこと

季節の移り変わりがこんなに早いものかと思った。それぞれの期間に適切な作業を終わらせる事を継続することが難しい。

Q 将来の目標

新規就農塾生が来た時に受け入れられるよう、手本になるような技術のあるいちご農家になりたい。



中村 太紀さん
出身：栃木県芳賀町
(栃木県農業大学校卒)
就農地：芳賀町

Q とちぎでいちごをはじめたきっかけ

いちごは農地面積あたりの収益性が高く、新規就農塾など新規就農者へのサポートが充実していたため。

Q いちごを作って思ったこと

年間を通しての様々な作業を、時期や天候を考えながら、日々作業しています。作業量が多く、大変なことも多いが、やりがいのある作物だと感じています。

Q 将来の目標

まずは、平均以上の収穫量を目指して頑張りたい。



※ J Aはが野は・・・関東平野の栃木県南東部に位置し、首都圏 100 km圏内のエリアです。J A管内は1市4町からなり、東部の中山間地を関東随一の清流と言われる那珂川が流れ、西部の鬼怒川東側ではゆるやかな台地となり、肥沃な穀倉地帯で形成されています。園芸作物には、イチゴ、ナス、ニラ、トマト、梨など農業の盛んな地域です。